

■「第2次あきる野市スポーツ推進計画」令和5年度実績及び令和6年度取組状況検証 ヒアリングシート

第3章 基本理念・目標

基本目標1 多様な主体が参加できるスポーツの機会の創出・提供

基本目標2 スポーツを通じた共生社会の実現

基本目標3 誰もが気軽にスポーツに親しめる環境の構築

基本目標4 市の特性を生かしたスポーツの推進

基本目標5 スポーツに親しめる場の提供

第4章 具体的な施策の展開

基本目標1 多様な主体が参加できるスポーツの機会の創出・提供

～ライフステージ・ライフスタイルに応じた活動機会の充実～

スポーツにはウォーキングや体操などの比較的軽い運動から、競技性の高い種目、また、楽しみながら身体を動かすレクリエーションなど、多種多様な種目があります。

誰もが生涯を通じてスポーツを身近に感じ、親しみ楽しむことができるよう、年齢や体力レベル、障害の有無などに応じた様々なスポーツ活動の機会を創出、提供し、スポーツ活動を推進します。

(1) 身近にスポーツを楽しむきっかけづくり

ライフステージ・ライフスタイルなどに応じ、その時々を楽しむスポーツ教室の開催や、健康増進などに関する情報を発信するなどして、生涯にわたってスポーツを楽しむことができるよう、スポーツを行うきっかけをつくります。また、日頃の成果を発揮する場として広く市民が参加できるスポーツ大会などを開催します。

ア スポーツを「する」機会の充実

内容	概要	令和5年度の実組における進捗状況	参加者等人数		令和5年度の実組における課題	担当課の評価	令和6年度の実組	担当課
			対象者	参加者数				
教室の開催	様々なニーズに対応できるよう、多様なプログラムを提供し、誰もがスポーツに触れ、楽しむことができる機会を提供する。	①ニュースポーツの普及事業（スポーツ推進課） スポーツ推進委員主催により実施した。 ベタンク体験教室は8回開催	①ベタンク体験教室 市内在住者・在勤者・在学者	①ベタンク体験教室 64人	①②③新型コロナウイルス感染症の影響により参加者数や会員数の減少が見られる。利用制限の解除によってコロナ禍以前の活動に戻りつつあるが、コロナ禍以前まで戻っていないため、引き続き、相談及び支援を行う必要がある。	①②③市の事業、総合型地域スポーツクラブ及び指定管理者事業においては、教室参加者数及び教室数は減少したものの、コロナ禍以前の状況に戻りつつあるが、コロナ禍以前まで戻っていないため、継続して実施していきたい。	①ニュースポーツの普及事業 スポーツ推進委員主催により実施している。 ベタンク講習会は5回開催 10月現在	スポーツ推進課 健康課
		②総合型地域スポーツクラブ事業を通年実施した。（スポーツ推進課） ・アスポルト事業（993回） ・五日市クラブ事業（1,046回）	②総合型地域スポーツクラブ事業 ・アスポルト事業 各種目により異なる ・五日市クラブ事業 各種目により異なる	②総合型地域スポーツクラブ事業 ・アスポルト事業 5,456人 ・五日市クラブ事業 7,753人				
情報の発信	家庭で気軽に実施できるスポーツや軽運動の情報などを発信する。	③指定管理事業スポーツ教室実施を通年実施した。（スポーツ推進課） ・秋川体育館年間事業（466回） ・五日市ファインブラザ年間事業（787回） ・市民プール年間事業（209回）	③指定管理事業 ・秋川体育館年間事業 各種目により異なる ・五日市ファインブラザ年間事業 各種目により異なる	③指定管理事業 ・秋川体育館年間事業 3,370人 ・五日市ファインブラザ年間事業 7,939人 ・市民プール年間事業 1,656人	④家庭で気軽にできる内容のスポーツ教室等の実施は行ったが、ホームページ等での情報発信において課題がある。	④地域健康教育、健康教育、健康づくり教室 市広報紙、市ホームページに加え、メール等での周知を行い、はがきや電話に加え、電子申請での申し込みを実施した。通年を通して計画的に教室を開催しており、今後も継続して実施する。	④地域健康教育、健康教育、健康づくり教室 健康づくり教室の開催や資料配付、市ホームページ等を通じて、生活習慣病予防やその他健康に関する事項について、正しい知識の普及を行っている。	スポーツ推進課 健康課
		④地域健康教育、健康教育、健康づくり教室（健康課） 生活習慣病の予防やその他、健康に関する事項について、正しい知識の普及を図ることにより、健康の保持増進に資することを目的として実施した。地域健康教育では、握力・足指力等の測定、健康のフンポイントを実施、病態別に健康づくり教室等を開催した。	④地域健康教育、健康教育、健康づくり教室 ・市民プール年間事業 各種目により異なる	④地域健康教育 1,127人 ホームページ等による健康教育 20回 健康教育（骨粗しょう症検診） 242人 健康づくり教室 100人				
		⑤めざせ健康あきる野21推進事業（健康課） 「ウォーキングⅡ班」では、日常生活での身体活動を増やし、定期的な運動の実施を促すため、「ふれあいウォーク」を実施した。	⑤めざせ健康あきる野21推進事業（健康課） 「ウォーキングⅡ班」では、市ホームページに おすすめのウォーキングコースやマップ、「歩いて健康づくり」記録表を掲載し、記録表を提出した人には記念品を贈呈した。	⑤めざせ健康あきる野21推進事業（健康課） 「ウォーキングⅡ班」では、市ホームページに おすすめのウォーキングコースやマップ、「歩いて健康づくり」記録表を掲載し、記録表を提出した人には記念品を贈呈した。	⑤ふれあいウォーク ・ホームページでの紹介のため、活用している人数、効果が把握しづらい。 ・市広報紙やインターネットを利用し、できない方への情報提供方法を検討する必要がある。	⑤ふれあいウォーク ふれあいウォークに参加できない人もウォーキングコースやマップを紹介することで、1人でもウォーキングを行うきっかけとなっている。	⑤ふれあいウォーク 「めざせ健康21」健康増進計画推進事業の一環として、ふれあいウォークを行う。（年6回実施予定）	
		⑥市と五日市ファインブラザ、秋川体育館、市民プールなどの指定管理者、NPO法人あきる野市スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブなどのホームページを活用し、スポーツ教室等の情報発信を継続的に実施した。（スポーツ推進課）	⑥市と五日市ファインブラザ、秋川体育館、市民プールなどの指定管理者、NPO法人あきる野市スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブなどのホームページを活用し、スポーツ教室等の情報発信を継続的に実施した。（スポーツ推進課）	⑥市と五日市ファインブラザ、秋川体育館、市民プールなどの指定管理者、NPO法人あきる野市スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブなどのホームページを活用し、スポーツ教室等の情報発信を継続的に実施した。（スポーツ推進課）				

■「第2次あきる野市スポーツ推進計画」令和5年度実績及び令和6年度取組状況検証 ヒアリングシート

スポーツ大会 やイベントの開 催	大会やスポーツイベ ントを開催し、市民相互の交流 を深め、スポーツ推進活動の 活性化を図る。 スポーツに親しみ、健康な心 身を培うため定められた「ス ポーツの日」を記念し、市民 が気軽にスポーツに親しむこ とができるよう、施設の開放 やイベントなどを実施する。	①NPO法人あきる野市スポーツ協会、教育委員会 で共催し、加盟団体が主管して開催する競技大会 を実施した。(8月～3月)(スポーツ推進課) ②スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ及び指 定管理者と連携し、スポーツの日スポーツフェスティ バルを実施した。(スポーツ推進課)	①あきる野市総合スポーツ祭 市内在住者 ②スポーツの日スポーツフェ スティバル 市内在住者・在勤者	①あきる野市総合スポーツ 祭 31団体 3,847人 ②スポーツの日スポーツフェ スティバル 18団体 1,112人	スポーツ大会やイベントをはじめ、多 くの市民がスポーツを楽しめるよう、 事業内容について改善を図りなが ら、引き続き事業を実施する必要が ある。	スポーツ大会やイベントについては、 参加者数が減少している傾向にある ため、参加者のニーズに合った内容 を検討していく必要がある。	①NPO法人あきる野市スポーツ協会、教育委員 会で共催し、加盟団体が主管して開催する競技 大会を実施している。(8月～3月) ②スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ及び 指定管理者と連携し、スポーツの日スポーツフェ スティバルを実施した。	スポーツ推 進課
健康の増進	スポーツと健康との関連情 報を提供するなどして、ス ポーツを習慣化する人を増 やし、健康増進を図る。	①健康のつどい(スポーツ推進課) (ちびっ子チャレンジコーナー) ②健康づくり市民推進委員会(健康課) 地域における健康に関する活動を実施した。 ・地区・ブロック活動 太極拳講座、フラストレッチ体験会、ポッチャ ・町内会・自治会単位活動 ウォーキング、体操、グラウンドゴルフ	①小学生及び幼児 ②健康づくり市民推進委員会 市内在住者・在勤者	①健康のつどい 77人 (ちびっ子チャレンジコー ナー) ②健康づくり市民推進委員 会 ・地区・ブロック活動 371人 ・町内会・自治会単位活動 2,761人	①健康のつどいについては、スポー ツ推進委員の協力により、実施した が、参加者数が減少したため、実施 場所や実施方法について改める必 要がある。 ②健康づくり市民推進委員 ・コロナ禍以前と比較すると、活動が 制限されている。	①参加者の減少に伴い、次年度以降 の実施について、検討していく必要が ある。 ②健康づくり市民推進委員 コロナ禍以前と比較すると活動が制 限されているため、活動日数や参加 者数が減少している。	①令和5年度の健康のつどいの実績から、ちびっ 子チャレンジ参加者の減少が見込まれたため、令 和6年度の参加協力は見送ることとなった。 ②健康づくり市民推進委員会 地域における健康に関する活動を実施する。	スポーツ推 進課 健康課
イ スポーツを「みる」機会の充実								
内容	概要	令和5年度の取組における進捗状況	参加者等人数		令和5年度の取組 における課題	担当課の評価	令和6年度の取組	担当課
			対象者	参加者数				
パブリック ビューイング	市内在住のトップアスリート が出場する国際大会などで は、市民一同が集い、大型 の映像装置を利用して応援 する機会(パブリックビューイ ング)を設け、スポーツの持 つ一体感やスポーツへの関 心を高める契機をつくる。	パブリックビューイングを実施する機会がなかった。 (スポーツ推進課)	—	—	パブリックビューイングをする機会に 備えて、事前準備をしておく。	パブリックビューイングをするスポー ツ大会の機会には限りがあるため、そ の機会に備えて、準備をする必要が ある。	パブリックビューイングを実施する機会がない。	スポーツ推 進課
トップアスリート との交流イベ ントの開催	元プロスポーツ選手や実業 団のスポーツチームを招へ いたイベントの実施に向け 取組を進める。	秋川流域小・中学校駅伝大会において、陸上選手 の渋谷陽子氏(北京オリンピック代表)をゲストに呼 び、講習会を実施した。(スポーツ推進課)	秋川流域(あきる野市・日の出 町・檜原村)の小・中学生	秋川流域小・中学生駅伝大 会 事前講習会(9回) 176人	4年振りの開催となったため、事前周 知に課題があった。	コロナ禍以降4年ぶりの開催となっ たが、初めてのゲストによる講習会の実 施については、概ね予定通りであっ た。	秋川流域小・中学校駅伝大会において、トップ選 手をゲストに呼び、講習会を実施する。	スポーツ推 進課
(2) 子どものスポーツ活動の推進 人生100年時代を迎えるに当たり、生涯を通じて健やかに過ごすためには、運動・スポーツを通じて健康増進や健康寿命の延伸を実現することが必要不可欠であるとされており、運動習慣形成には幼児期の経験が重要であると言われています。また、スポーツ庁における「体力・運動能力調査」では、成人のスポーツ習慣と、小学生時に運動を楽しんでいたことには強い相関が認められています。さらに、小学生時に運動を楽しんでいた子どもは、未就学時の外遊び回数が多いことが指摘されています。このように、幼児期の運動習慣づくりは、子どもの体力向上はもとより、成人以降のスポーツ習慣や高齢期以降の健康の保持にも大きな影響を及ぼすものであることから、幼児期からの望ましい運動習慣の形成に取り組むことが必要です。生涯にわたってスポーツに親しみながら豊かなライフスタイルを形成する習慣、意欲、能力を育てるために、子どもや親子で一緒に楽しめるスポーツ事業を実施します。								
スポーツを「する」機会の充実								
内容	概要	令和5年度の取組における進捗状況	参加者等人数		令和5年度の取組 における課題	担当課の評価	令和6年度の取組	担当課
			対象者	参加者数				
教室の開催	子どもや親子を対象とした プログラムを提供 し、幼児期からスポーツに触 れ、楽しむことができる機会 を提供する。	①親子開放事業として親子がのびのびと自由に遊 べる機会を提供した。(スポーツ推進課) ②児童館の健全育成のため、遊び、スポーツなどの 場と機会を提供しました。(子ども政策課(児童館 係)) ③子どもとのコミュニケーション等を目的とした親子 で一緒に楽しめる取組を行った。(子ども家庭支援 センター) 子育て講座 遊びながら体を知ろう！:年3回実施 子育てひろばにて実施 からだをうごかしてあそぼ う:年2回実施 子育てひろばにて実施 運動会:年1回実施	①親子(小学生未満の子どもと その保護者) ②幼児から大人 ③子育て講座 遊びながら体 を知ろう！:1歳の子どもの 保護者 子育てひろばにて実施 から だをうごかしてあそぼう:就 学前の児童とその保護者 子育てひろばにて実施 運動 会:就学前の児童とその保護 者	①51回実施、13人 ②市内児童館10箇所 各児童館の事業としてトラ ンポリン、卓球、サッカー、 ダンス、一輪車教室等5,859 人 ③子育て講座 遊びながら 体を知ろう！:46人 子育てひろばにて実施 から だをうごかしてあそぼう:34 人 子育てひろばにて実施 運 動会:60人	①参加者が少なく、ニーズに沿った 提供方法を検討する必要がある。 ②コロナ禍以前と比較して、事業数 と参加者が、減少している。 ③ニーズを捉えた講座の実施が必要 である。	①参加者が少なくなっているが、場の 提供として、引き続き実施してい きたい。 ②コロナ禍で事業が長く中止になっ ていたため、講師依頼が出来なくなっ ている事業があるので、新規事業など 検討していく。 ③アンケートにおいて、楽しかった、 普段しない運動ができて良かったとの 声もあり、開催により良い影響を与 えることができた。課題についても考 慮の上、講座等の内容についても検 討していきたい。	①親子開放事業として親子がのびのびと自由に 遊べる機会を提供する。 ②各児童館の事業としてトランポリン、卓球、一輪 車教室等を実施 ③子育てひろばにて実施 からだをうごかしてあ そぼう。子育てひろばにて実施 運動会	スポーツ推 進課 子ども政策 課 (児童館係) 子ども家庭 支援センター

■「第2次あきる野市スポーツ推進計画」令和5年度実績及び令和6年度取組状況検証 ヒアリングシート

			情報の発信	運動習慣の形成に取り組むきっかけづくりとなる親子で楽しむことができるスポーツ情報などを発信する。	①親子開放等スポーツ施設での活動機会をチラシ等で周知した。 (スポーツ推進課) ②小学生には、児童館たよりの発行や施設の掲示板を活用した。また、幼児対象事業については、市ホームページや広報紙を活用し、事業の周知及び利用方法をお知らせした。(子ども政策課(児童館係))	①親子(小学生未満の子どもとその保護者) ②幼児から大人	—	①チラシ以外の周知活動について、ホームページなどで周知する方法を検討する必要がある。 ②小学生を対象にしている事業については、紙媒体と施設の掲示板を活用しているため、SNS等の活用の検討が必要と考えている。	①施設の窓口で継続的にチラシ等の周知をしており、引き続き実施していく。 ②事業については、学校区ごとの募集になっているため、児童にわかりやすいような情報発信を継続して行っていく。	①親子開放等スポーツ施設での活動機会をチラシ等で周知した。 ②児童館たよりを継続的に発行する。	スポーツ推進課 子ども政策課 (児童館係)
			スポーツ大会やイベントの開催	子どもや親子を対象とした大会やイベントを開催し、相互の理解や協調性、交流を深める機会を提供する。	①子どもすもう大会、秋川流域小・中学校駅伝大会及びドッジボール大会を開催し、子どもの体力向上を図った。(スポーツ推進課) 子どもすもう大会: 令和5年7月15日 秋川流域小・中学校駅伝大会: 令和5年12月9日 ドッジボール大会: 令和6年2月17日 ②新型コロナウイルス感染症対策として、出場学年及びチーム内人数を減少し、小学4、5年生を対象に「あいさつ標語カルタ大会」を開催し、チーム内の相互理解や協調性を育み、地域間の交流の機会を提供した。(生涯学習推進課)	①子どもすもう大会: 市内小学生 秋川流域小・中学校駅伝大会: 秋川流域(あきる野市・日の出町・檜原村)の小・中学生 ドッジボール大会: 市内小学2年生～3年生 ②市内の小学4・5年生	①子どもすもう大会: 172人 秋川流域小・中学校駅伝大会: 427人 ドッジボール大会: 439人 ②あいさつ標語カルタ大会 4年生の部: 9チーム、18人 5年生の部: 6チーム、12人	①新型コロナウイルス感染症により中止していた各種事業を再開したが、参加者の減少が見られるため、参加者のニーズに合わせた事業内容等検討する必要がある。 ②各学年32チームを上限としたが、参加チーム数が少なかったこと。	①コロナ禍以降、以前とは異なりそれぞれ工夫しての開催となっている。今後とも状況に合わせて開催していくことが必要である。 ②参加チーム数は少なかったが、参加者はとても真剣に競技に取り組んでいたため、引き続き事業実施する。	①子どもすもう大会を開催し、競技を通して相互の理解と協調性を高め、各学校との交流を図ると共に、一人ひとりの子どもの体力向上を図った。(令和6年7月20日、232人) また、秋川流域小・中学校駅伝大会及びドッジボール大会については、開催予定である。 ②出場部門及びチーム内人数等の実施要綱を整備し、より多くの参加者が参加できるようにする。 ③親子リトミック教室(令和6年度より開始予定)スポーツ施設を利用して実施(2回)(子ども政策課(児童館係))	スポーツ推進課 生涯学習推進課 子ども政策課 (児童館係)
			スポーツに親しむ機会の創出・提出	未就園児に対する保育園の園庭開放、学校施設の開放、放課後子ども教室の実施などにより、スポーツに親しむ機会を提供する。 また、勝敗を競う競技スポーツではなく、個々人の目的に合わせ、体を動かすことを楽しむことができる機会を創出し提供する。	①市内の小・中学校施設を平日夜間及び土曜日、日曜日等に開放し、スポーツをする機会を提供した。(スポーツ推進課) ②保育園の園庭開放を実施した。ただし、園児数減少の関係から、令和5年度途中より毎年作成しているポスターやチラシなどに加え、新たなポスターを作成し、公共施設をはじめ地域への回覧を実施した。(保育課) ③市内9校で放課後子ども教室を実施し、放課後にサッカー、ドッジボール、バドミントンなどのほか、東京都が行う「専門人材を活用した活動プログラム」のスポーツ教室として、かけっこ、縄跳び及びタグラグビーといったスポーツをする機会を提供した。(生涯学習推進課)	①市内在住、在勤、在学する者で10人以上で構成している団体 ②未就園児とその保護者 ③市内公立小学校9校の児童	①214,467人 ②すぎの子保育園: 3人 ③放課後子ども教室 参加者数: 延べ17,182人	①スポーツ施設における鍵貸出し対応について、休館日の問合せが多いため、事前貸出しの周知が必要である。 ②新型コロナウイルス5類移行後となり、コロナ以前以上の周知は行っているが、出生児数の減少により、園庭開放等の問合せは少ない。また、園庭開放の時間帯について、夏期は熱中症予防の観点から園児も園庭で遊べない状況となっているため、問合せや参加者が減少している。 ③市内小学校10校のうち1校が未開設であることや夏期における熱中症の対策が必要である。	①市内の小・中学校を活用し、スポーツをする機会が提供できているため、引き続き、利用団体が安全に利用できるよう環境を整える。 ②出生児数の減少や熱中症予防による行事の中止は考えられるが、引き続き周知を継続実施する。 ③放課後における子ども達の居場所とスポーツをする機会を提供できている。	①各学校と連携しながら、市内の小・中学校施設を平日夜間及び土曜日、日曜日等に年間を通して開放し、スポーツをする機会を提供する。 ②保育園の園庭開放を実施するが、周知用ポスターやチラシなどの掲示場所の増加や、地域によっては回覧等を行い、周知を継続する。夏期の問合せがあった場合は、園庭の状況等含め個別対応する。 ③未開設校の開設及び夏期における熱中症の対策として、別の曜日に児童を分割する分散実施を行う。	スポーツ推進課 保育課 生涯学習推進課
			学校におけるスポーツの充実と体力の向上	体育の授業などを通じて、運動好きな子どもや日常から運動に親しむ子どもを増加させ、生涯にわたって運動やスポーツを継続し、心身共に健康で幸福な生活を営むことができる資質や能力の育成を図る。	体力向上推進委員会の実施(年3回) 子どもたちが運動に親しみ、日常的に運動したり、健康に気を付けて生活したりできるよう、運動や栄養、保健に関する指導方法の推進委員会で検討するとともに、各校の好事例について「基礎体力向上に向けた取組」として冊子にとりまとめ、市内学校へ還元した。(指導室)	市内小中学校の教師	13人	・各校における基礎体力向上に向けた日常的な運動の推進 ・学校給食法に基づいた食育に関する授業や給食時間の指導の更なる充実	・体力の向上、健康の保持増進を教育課程に位置付けた。各校は、教育課程に基づき、体育・健康に関する指導の全体計画を作成し、体力の向上、健康の保持増進等を推進した。 ・令和5年度に体力向上推進委員会で作成した「基礎体力向上に向けた取組」を全校に配付し、日常的な体育・健康教育の推進を実施した。	各校において、日常的な体育・健康教育の推進を実施する。	指導室

■「第2次あきる野市スポーツ推進計画」令和5年度実績及び令和6年度取組状況検証 ヒアリングシート

運動部活動の地域移行	地域における新たなスポーツ環境の在り方とその構築方法などを検討し実行する。	部活動の調査、スポーツ協会指導者への意向調査を実施し、学校、スポーツ協会及び教育委員会代表者による連絡協議会を2回実施し、準備を進めた。(スポーツ推進課)	—	—	国や都の動向を踏まえ、地域の特徴を生かした取組が必要である。	新たな取組ではあるが、学校、スポーツ協会とスムーズな連携を図ることができた。	スポーツ協会に委託し、6月から地域連携移行を開始した。 市内中学校:11部活動 地域指導員:24人	スポーツ推進課
(3) 成人のスポーツ活動の推進 スポーツ庁における「スポーツの実施状況等に関する世論調査」の結果では、年代別スポーツ実施率は、働く世代・子育て世代の20歳代から50歳代で落ち込む傾向があり、また、テレワークの浸透などによる運動不足やそれを一因とする耐糖能異常、脂質異常、高血圧、肥満などの生活習慣病、外出制限などによるメンタル不調の課題が増加しているとされています。本市における市民アンケート結果からも、年代別スポーツ実施率は国と同様に、働く世代・子育て世代の20歳代から40歳代で落ち込む傾向があります。これらスポーツ実施率が低い世代に対して隙間時間などに気軽に行えるスポーツ情報の提供や、夜間のスポーツ教室、託児付のスポーツ教室を開催するなど、年代に応じた幅広いスポーツ事業を実施します。								
スポーツを「する」機会の充実								
内容	概要	令和5年度の実施状況	参加者等人数		令和5年度の実施状況	担当課の評価	令和6年度の実施状況	担当課
			対象者	参加者数				
教室の開催	夜間の時間帯での教室の開催や託児付教室、親子で参加できる教室を開催するなどして、幅広い世代がスポーツに触れ、楽しむことができる機会を提供する。	①託児教室の実施については、利用者がいなかったため、実施していない。(スポーツ推進課) ②子どもとのコミュニケーション等を目的とした親子で一緒に楽しめる取組を行った。(子ども家庭支援センター) 子育て講座 親子でヨガ:年2回実施 子育て講座 ママのストレッチ体操:年2回実施 子育てひろばにて実施 バランスボールでリフレッシュ:年1回実施(来年度実施未確定)	①— ②子育て講座 親子でヨガ:1歳の子どもとその保護者 子育て講座 ママのストレッチ体操:産後半年から1歳未満までの母親とその子ども 子育てひろばにて実施 バランスボールでリフレッシュ:未就学児とその子ども	①— ②子育て講座 親子でヨガ:30人 子育て講座 ママのストレッチ体操:12人 子育てひろばにて実施 バランスボールでリフレッシュ:12人	①利用者の有無を問わず、開催できる準備を整える必要がある。 ②ニーズを捉えた講座の実施	①指定管理者と連携しながら、事業の再開に向けて準備する必要がある。 ②子どもと一緒にふれあいがリフレッシュできた、体がリラックスできたとの声もあり、開催により良い影響を与えることができた。課題についても考慮の上、講座等の内容についても検討していきたい。	①託児教室の実施については、実施する予定である。 秋川体育館:骨盤コア、ズンバ、はじめてのピラティス(各10月から) 五日市ファインブラザ:フリースタイル、ダンシングズンバ(各9月から) ②子育て講座 親子でヨガ 子育て講座 ママのストレッチ体操	スポーツ推進課 子ども家庭支援センター
情報の発信	スポーツ実施率が低い傾向にある働く世代、子育て世代などに対し、階段利用の推奨や隙間時間などを利用して家庭などで手軽にできるスポーツ情報などを発信する。	スポーツ推進課及び健康課窓口において、ウォーキングや軽体操の比較的一つでもどこでも手軽に運動できるチラシ等の周知をした。(スポーツ推進課)(健康課)	—	—	紙ベースの周知以外で、市ホームページなどの周知を検討する必要がある。	各担当窓口において、手軽に運動できるチラシや冊子を掲示し、市民の運動機会を提供していく。	スポーツ推進課及び健康課窓口において、ウォーキングや軽体操の比較的一つでもどこでも手軽に運動できるチラシの周知をする。	スポーツ推進課 健康課
健康の増進	生活習慣病の予防改善に役立つスポーツ教室の開催や情報の提供を行い、健康増進を図る。	①スポーツ推進委員主催事業(スポーツ推進課) ・春のヘルシーウォーキング 令和5年4月15日(土)雨天中止 ・秋のヘルシーウォーキング 令和5年11月25日(土) ②地域健康教育、健康教育、健康づくり教室(健康課) 生活習慣病の予防やその他、健康に関する事項について、正しい知識の普及を図ることにより、健康の保持増進に資することを目的として実施した。地域健康教育では、握力・足指力等の測定、健康のワンポイントを実施、病態別に健康づくり教室等を開催した。 健康相談 心身の健康に関する個別の相談に応じ指導、助言を行った。 健康づくり市民推進委員会 地域における健康に関する活動を実施した。 ・地区・ブロック活動 太極拳講座、フラストレッチ体験会、ポッチャ ・町内会・自治会単位活動 ウォーキング、体操、グラウンドゴルフ	①スポーツ推進委員主催事業 ・春のヘルシーウォーキング:市内在住・在勤・在学 ・秋のヘルシーウォーキング:市内在住・在勤・在学 ②地域健康教育、健康教育健康づくり市民推進委員会 市内在住者・在勤者	①スポーツ推進委員主催事業 ・春のヘルシーウォーキング:雨天中止 ・秋のヘルシーウォーキング:11人 ②地域健康教育 1,127人 ホームページ等による健康教育 20回 健康づくり教室、健康相談 健康づくり市民推進委員会 健康相談 747人 健康づくり教室 100人 健康づくり市民推進委員会 ・地区・ブロック活動 371人 ・町内会・自治会単位活動 2,761人	①スポーツ推進委員主催事業 ・参加者数の減少 ・ウォーキングコースにおいて、自然や地形を生かしたコース等を検討する必要がある。 ②地域健康教育、健康教育、健康づくり教室 ・若い世代、働き盛り世代の申込み、参加者が少ない。 ・市広報紙やインターネットを利用しない・できない方への情報提供方法を検討する必要がある。 ○健康相談 定期健康相談はコロナ禍以前と比較すると利用者が少ない。 健康づくり市民推進委員 ・コロナ禍以前と比較すると、活動が制限されている。	①スポーツ推進委員主催事業 四季によって目的を持ってウォーキングをする中で、スポーツの普及や日頃の健康体力作りのきっかけとなっている。 ②地域健康教育、健康教育、健康づくり教室 ・市広報紙、市ホームページに加え、メール等での周知を行い、はがきや電話に加え、電子申請での申し込みを実施した。通年を通して計画的に教室を開催しており、今後も継続して実施する。 ・健康相談 健康相談の利用者数は前年度と比較し、増えている。 ・健康づくり市民推進委員 コロナ禍以前と比較すると活動が制限されているため、活動日数や参加者数が減少している。	①スポーツ推進委員主催事業 ・春のヘルシーウォーキング 令和6年4月20日(土) 12人 ・秋のヘルシーウォーキング 令和6年11月23日(土) 予定 ②地域健康教育、健康教育、健康づくり教室 生活習慣病の予防やその他、健康に関する事項について、正しい知識の普及を図ることにより、健康の保持増進に資することを目的として実施している。 健康相談 心身の健康に関する個別の相談に応じて指導及び助言を行い、家庭における健康管理を目的として健康相談を実施している。体組成や健診結果等を確認し、個人の健康状態に合わせた相談者の生活及び食習慣、運動習慣の見直しを支援し、生活習慣病予防・改善を推進している。 健康づくり市民推進委員会 地域における健康に関する活動を実施している。	スポーツ推進課 健康課

■「第2次あきる野市スポーツ推進計画」令和5年度実績及び令和6年度取組状況検証 ヒアリングシート

(4) 高齢者のスポーツ活動の推進 本市における高齢者人口は引き続き増加が見込まれます。このような中、高齢者の誰もが地域ではつらつと活躍し、生きがいを感じながら生活を送るためには健康であることが求められます。このため、健康寿命の延伸などにつながり、高齢者が参加しやすいスポーツ事業を展開していきます。また、高齢者がスポーツや運動を通じて地域の人々との交流を深め、喜びや生きがいを感じることができるよう、保健福祉分野と連携しながら取組を進めていきます。										
内容	概要	令和5年度の取組における進捗状況	参加者等人数		令和5年度の取組における課題	担当課の評価	令和6年度の取組	担当課		
			対象者	参加者数						
教室の開催	ウォーキングや軽体操などの教室を開催する。 また、高齢者が参加しやすいニュースポーツを中心とした教室を開催し、スポーツに触れ、楽しむことができる機会を提供する。	①スポーツ推進委員主催事業(スポーツ推進課) 簡単に行える筋力トレーニングや体をほぐすリラックストレッチなどの体操・ニュースポーツ体験教室を実施した。 ②(高齢者支援課) はつらつ元気アップ教室 6教室×9クール 頭シャキッと教室 3教室×12クール サロン型介護予防 2施設×週1回 ③めざせ健康あきる野21推進事業(健康課) 「ウォーキングⅡ班」では、日常生活での身体活動を増やし、定期的な運動の実施を促すため、第103回～108回 めざせ健康あきる野21 ふれあいウォークを実施した。	①スポーツ推進委員主催事業 体操・室内ニュースポーツ体験教室:市内在住・在勤・在学 ②市内在住の65歳以上の高齢者 ③全年齢対象	①スポーツ推進委員主催事業 体操・室内ニュースポーツ体験教室:31人 ②はつらつ元気アップ教室 73人 頭シャキッと教室 34人 サロン型介護予防事業 延べ977人 ③めざせ健康あきる野21推進事業 ふれあいウォーク 103回から108回まで 60人※中止3回	①スポーツ推進委員主催事業 室内ニュースポーツ種目の固定化が見られる。 ②はつらつ元気アップ教室 ・教室に参加した方からは、内容に満足したという意見をもらっているが、参加者の固定化傾向がある。 ・教室の開催場所によって参加者数に差がでている。 ③めざせ健康あきる野21推進事業 ・コロナ禍以前と比較すると参加者が減少している。 ・市広報紙やインターネットを利用しない・できない方への情報提供方法を検討する必要がある。	①前年度から開始した事業であるが、参加人数が増加している。ほかの事業時の周知が影響している。 ②教室参加者の運動に触れる機会を提供し、介護予防に寄与している一方で、より多くの方に参加してもらうための、周知方法や教室の開催場所については、今後検討が必要である。 ③めざせ健康あきる野21推進事業 リピーターが多く新規参加者が少ない。周知方法等、再検討が必要。	①スポーツ推進委員主催事業 簡単に行える筋力トレーニングや体をほぐすリラックストレッチなどの体操・室内ニュースポーツ体験教室を実施する。 ②教室を継続開催し、高齢者が運動に触れる機会を提供するとともに、介護予防に努める。取組のなかで把握した課題については引き続き検討していく。 ③「めざせ健康あきる野21」健康増進計画推進事業の一環として、ふれあいウォークを行う。(年6回実施予定)	スポーツ推進課 高齢者支援課 健康課		
		スポーツ大会やイベントの開催	グラウンドゴルフやゲートボール大会を開催するなどし、参加者相互の交流を深める機会を提供する。	①スポーツ推進委員主催事業(スポーツ推進課) ・春のヘルシーウォーキング 令和5年4月15日(土)雨天中止 ・秋のヘルシーウォーキング 令和5年11月25日(土) ②市内42団体の高齢者クラブの内、41団体がグラウンドゴルフを定期的な活動としている。本部が10月に大会を開催、地区ごとに年に2回大会を実施している。また、8団体がゲートボールを定例的な活動としている。(高齢者支援課) ③地域イキイキ元気づくり事業(健康課) 地域の会館等で、血圧測定、体操、レクリエーション、健康のワンポイントアドバイス等を実施した。また、参加者のフレイル予防、筋力の維持増進を図るため「貯筋力測定」を取り入れ、握力・バランスチェック・足指力・歩幅力等の測定を実施した。	①スポーツ推進委員主催事業 ・春のヘルシーウォーキング:市内在住・在勤・在学 ・秋のヘルシーウォーキング:市内在住・在勤・在学 ②高齢者クラブに所属している高齢者 ③市内在住者・在勤者	①スポーツ推進委員主催事業 ・春のヘルシーウォーキング:雨天中止 ・秋のヘルシーウォーキング:11人 ②令和5年度会員数 2,639人 ③活動473回 参加者4,723人	①スポーツ推進委員主催事業 ・参加者数の減少 ・ウォーキングコースにおいて、自然や地形を生かしたコース等を検討する必要がある。 ②会員数が減少傾向にある。 ③地域イキイキ元気づくり事業 ・コロナ禍以前と比較すると参加者が減少している。 ・登録者数が目標値達成していない(※目標値 1,350人)	①スポーツ推進委員主催事業 四季によって目的を持ってウォーキングをすることで、スポーツの普及や日頃の健康体力作りのきっかけとなっている。 ②高齢者クラブの定期活動として取組がされていることから、多くの団体で交流を深める機会の提供と捉えている。 ③毎月、新規の参加者も増えている。引き続き事業を継続する。	①スポーツ推進委員主催事業 ・春のヘルシーウォーキング 令和6年4月20日(土) 12人 ・秋のヘルシーウォーキング 令和6年11月23日(土) 予定 ②高齢者クラブの加入促進等について関係機関と連携を図りながら、努めていく。 ③地域の会館約50か所、月1回、もしくは2か月に1回実施。骨密度測定、歩行力測定、握力測定等を実施する。 健康づくり市民推進委員会を中心に、町内会・自治会、民生・児童委員、ふれあい福祉委員などの協力を得て地域の会館などで実施する。	スポーツ推進課 高齢者支援課 健康課
				情報の発信	家庭で実施できる運動や介護予防、生活習慣病の予防改善に役立つ運動などの情報を発信する。	①スポーツ推進課窓口において、ウォーキングや軽体操の比較的いつでもどこでも手軽に運動できるチラシ等の周知をした。(スポーツ推進課) ②はつらつ元気アップ教室、頭シャキッと教室、サロン型介護予防を通じて、情報発信をした。(高齢者支援課) ③(健康課) ・地域健康教育、健康教育、健康づくり教室 生活習慣病の予防やその他、健康に関する事項について、正しい知識の普及を図ることにより、健康の保持増進に資することを目的として実施したため、市ホームページや広報紙で周知をした。 地域健康教育では、握力・足指力等の測定、健康のワンポイントを実施、病態別に健康づくり教室等を開催したため、ホームページや広報等で周知をした。 ・健康相談 心身の健康に関する個別の相談に応じ指導、助言を行った。	—	—	①紙ベースの周知以外で、市ホームページなどの周知を検討する必要がある。 ②情報発信が教室参加者のみにとどまってしまっている。 ③・地域健康教育、健康教育、健康づくり教室 (1)若い世代、働き盛り世代の申込み、参加者が少ない。 (2)市広報紙やインターネットを利用しない・できない方への情報提供方法を検討する必要がある。 ・健康相談 市広報紙やインターネットを利用しない・できない方への情報提供方法を検討する必要がある。	①手軽に運動できるチラシや冊子を掲示し、市民の運動機会を提供していく。 ②参加者に対し、教室を通じて情報発信を行い、介護予防の普及啓発に努めた。令和5年度の取組課題を踏まえ、発信方法等について検討していく。 ③・地域健康教育、健康教育、健康づくり教室 市広報紙、市ホームページに加えメール等での周知を行い、はがきや電話に加え、電子申請での申し込みを実施した。通年を通して計画的に教室を開催しており、今後も継続して実施する。 ・健康相談 健康相談の利用者数は前年度と比較し、増えている。
スポーツ推進審議会からの意見・評価	・スポーツの日スポーツフェスティバルにおいて、スタンプラリーを実施すると集客がよくなるのではないかと。 ・地域指導員24人のうち、17人が地域の部活動指導員であり、7人が教員となっている。部活動指導員が指導に入ったことにより、技術的な指導が充実している。予算面や地域指導員における地域の指導体制の確立については、課題がある。 ・教員と地域指導員とでは教え方に違いがあるのではないかと。専門性のない教員もいるため、部活動における地域指導員の存在は重要である。そのため、令和7年度の地域移行における水準を明記する必要があるのではないかと。 ・世代間でスポーツをする人やその親の苦悩がある。 ・「(2)子どものスポーツ活動の推進」の項目にスポーツ少年団の活動内容を記載するべきである。 ・高齢者の健康寿命の現在の状況についてどうか。 →令和4年度における健康寿命の全国における東京都の順位については、男性が29位、女性が27位。また、都内におけるあきる野市の65歳健康寿命は、男性が3位。女性が2位である。									

■「第2次あきる野市スポーツ推進計画」令和5年度実績及び令和6年度取組状況検証 ヒアリングシート

基本目標2 スポーツを通じた共生社会の実現
～パラスポーツの推進～
パラスポーツは、障害の有無に関わらず、誰もが楽しむことができるユニバーサルなスポーツと言えます。この「ユニバーサルスポーツ」の考えの下、様々な状況にある人が「あつまり」、「ともに」、活動し、「つながり」を感じながらスポーツを楽しみ、お互いを理解し支え合うことで、人々の意識を変化させ、共生社会が実現できるよう取組を進めていきます。
東京2020パラリンピック競技大会や北京2022パラリンピック冬季競技大会では、メディアによる競技の放映が増え、また、本市出身のパラアスリートの活躍などにより、多くの方がその姿に感銘を受けるなど、パラスポーツへの関心が高まっております。
これを一過性のものとせず、障害の有無に関わらず誰もが共にスポーツを楽しんだり、観戦を楽しむことができるよう関係機関などと連携し、取組を進めていきます。

ア スポーツを「する」機会の充実								
内容	概要	令和5年度の実績	参加者等人数		令和5年度の実績	令和6年度の実績	担当課	
			対象者	参加者数				
関係団体との連携による推進	福祉関係団体やパラスポーツ事業の実施実績のある総合型地域スポーツクラブなどと課題を共有して、事業を企画し、提供する。	障がい者スポーツ教室意見交換会を実施した。(2回) (スポーツ推進課)	関係団体委員(一般社団法人あきる野総合スポーツクラブ、社会福祉法人あきる野市社会福祉協議会、スポーツ推進委員、スポーツ推進課、障がい者支援課)	6人	・障がい者スポーツ教室において、継続的に参加いただいている方がいる一方、新規の参加者が少なく、新規の参加者の増加に向けて検討が必要である。 ・デフリンピックが開催されることなどから、聴覚障害など、新たな参加者や様々な障害をお持ちの方が参加しやすい工夫が必要である。	関係団体委員を含めた意見交換会を実施したことにより、チラシ等の配布やホームページの充実における取組をしたため、来年度はさらなる参加者の増加に向けて、情報発信に努めていきたい。	障がい者スポーツ教室意見交換会を実施しており、今年度あと1回実施予定。(1回目:令和6年4月25日)	スポーツ推進課
教室の開催	障がい者を対象とした水泳教室や障害の有無に関わらず誰もが参加できるポッチャなどの教室を開催する。	①楽しく安全に水に親しむことができるよう、水泳教室を継続し、障がい児の運動機会の増加を図った。(指定管理者引継ぎ事業)(スポーツ推進課) ・五日市ファインプラザ 障がい児水泳教室 17回開催 ・市民プール 障がい児水泳教室 0回開催 (※休館していたため) ②障がい者スポーツの理解促進を図り、障がい者が進んでスポーツに取り組めることを目的として、障がい者スポーツ教室を実施した。(スポーツ推進課) 5月～2月 秋川体育館ほか ・ポッチャ教室 10回 ・だれでもスポーツ体験教室 8回 ・あきる野わくわくパーク 8回	①指定管理者教室 ・五日市ファインプラザ あきる野市在住・在勤・在学中の小学生以上で、「愛の手帳」をお持ちの方 ・市民プール あきる野市在住・在勤・在学中の中学生以上で、「愛の手帳」をお持ちの方 ②障がい者スポーツ教室 ・ポッチャ教室 どなたでも ・だれでもスポーツ体験教室 どなたでも ・あきる野わくわくパーク 知的障害者	①指定管理者教室 ・五日市ファインプラザ 障がい児水泳教室 延べ参加人数39人 ・市民プール 障がい児水泳教室 延べ参加人数0人 ②障がい者スポーツ教室 ・ポッチャ教室 144人 ・だれでもスポーツ体験教室 127人 ・あきる野わくわくパーク 112人	①障がい児水泳教室については、参加者募集の周知の工夫が必要である。 ②障がい者スポーツ教室においては、参加者の固定化や日曜祝日以外の開催日の検討が必要である。	①令和4年度の実績と比較し、五日市ファインプラザの障がい児水泳教室の回数及び参加者数について、増加していることは評価できる。 ②障がい者スポーツ教室については、意見交換会を実施し、構成団体からの意見において、課題等が把握できた点は評価できる。	①楽しく安全に水に親しむことができるよう、水泳教室を継続し、障がい児の運動機会の増加を図っている。(指定管理者引継ぎ事業) ・五日市ファインプラザ 障がい児水泳教室 ・市民プール 障がい児水泳教室 ②障がい者スポーツの理解促進を図り、障がい者が進んでスポーツに取り組めることを目的として、障がい者スポーツ教室を実施している。 5月～2月 秋川体育館ほか ・ポッチャ教室 ・だれでもスポーツ体験教室 ・あきる野わくわくパーク	スポーツ推進課
スポーツ大会やイベントの開催	誰もが参加することができるポッチャ大会やイベントなどを通して、参加者相互の交流を深める機会を提供する。	①ポッチャあきる野大会(スポーツ推進課) ②西多摩地域広域行政圏体育大会スポーツフェスタ(スポーツ推進課)	①小学生以上の市内在住・在勤・在学者が所属するチーム ②どなたでも	①64人 ②285人	①ポッチャ大会参加者のニーズに合わせた運営面の工夫が必要である。 ②西多摩地域広域行政圏体育大会スポーツフェスタについては、種目が固定化されている。来年度幹事市となるため、種目については検討する必要がある。	①ポッチャあきる野大会参加者チームについては、上限に達する多くのチームの申込があり、福祉施設等に周知をした結果となった。 ②西多摩地域広域行政圏体育大会スポーツフェスタについては、スポーツ推進委員が参加し、障がい者スポーツを指導する上での必要な知識向上の機会となった。	①ポッチャあきる野大会 令和6年10月19日(土)実施予定 ②西多摩地域広域行政圏体育大会スポーツフェスタ	スポーツ推進課
情報の発信	東京都障害者スポーツ協会や都立特別支援学校などで実施される事業や施設の貸出し情報などを発信する。	①スポーツ推進課及び障がい者支援課窓口、各種施設窓口にて施設等のチラシや冊子を配布し、周知した。(スポーツ推進課) ②地域自立支援協議会において情報を発信した。(障がい者支援課)	—	—	スポーツ推進課及び障がい者支援課窓口、各種施設窓口にて施設等のチラシを配布し、地域自立支援協議会においても周知しているが、施設の認知が低い状況である。	スポーツ推進課及び障がい者支援課窓口、各種施設窓口にて施設等のチラシを配布するだけではなく、様々なツールを活用し、周知していく必要がある。	①引き続き、スポーツ推進課及び障がい者支援課窓口、各種施設窓口にて施設等のチラシを配布し、施設の認知度や利用率を高めていく。 ②地域自立支援協議会において情報を発信する。	スポーツ推進課 障がい者支援課
パラスポーツ指導者の育成	誰もが気軽にスポーツに親しめるよう、パラスポーツを指導する上で必要となる、普及振興を推進する(戦略担当)人材、活動現場を統括する人材、アシスタントを担う人材を育成する。	ポッチャあきる野大会の審判を行うに当たり、審判講習会を実施した。(スポーツ推進課)	あきる野市スポーツ推進委員	12人	安定した大会運営に向けた、定期的な審判講習会の実施	ポッチャあきる野大会について、円滑に試合を進めるために、一人一人がルールを熟知し、判断できるいい機会となっている。	ポッチャあきる野大会の審判を行うに当たり、審判講習会を実施した。 令和6年度は、アスボルトによる審判講習会のほか、障害者スポーツ協会の指導員を派遣し、講習会を実施する予定。	スポーツ推進課

■「第2次あきる野市スポーツ推進計画」令和5年度実績及び令和6年度取組状況検証 ヒアリングシート

情報の発信	障がい者スポーツ指導員養成講習会やパラスポーツボランティア育成講座などの情報を広く市民に周知する。	スポーツ推進課窓口や各種施設窓口にて講習会等のチラシを配布し、周知した。（スポーツ推進課）	—	—	新たな参加者が増えるよう周知方法の拡大を検討する必要がある。	市スポーツ推進課窓口や各種施設窓口にて講習会等のチラシを配布するだけでなく、様々なツールを活用する。	引き続き、市スポーツ推進課窓口や各種施設窓口にて講習会等のチラシを配布し、周知していく。	スポーツ推進課
ウ スポーツを「みる」人材の育成								
内容	概要	令和5年度の実績	参加者等人数		令和5年度の実績	担当課の評価	令和6年度の実績	担当課
			対象者	参加者数				
パブリックビューイングの実施	市内在住のトップアスリートが出演する国際大会などでは、市民一同が集い、大型ビジョンで応援する機会（パブリックビューイング）を設け、スポーツの持つ一体感やスポーツへの関心を高める契機をつくる。	パブリックビューイングを実施する機会がなかった。（スポーツ推進課）	人	—	パブリックビューイングをする機会に備えて、事前準備をしておく。	パブリックビューイングをするスポーツ大会の機会には限りがあるため、その機会に備えて、準備をする必要がある。	パブリックビューイングを実施する機会がない。	スポーツ推進課
スポーツ推進審議会からの意見・評価	・「パラスポーツ指導者の育成」における令和6年度のポッチャ審判講習会について、2回実施する理由はなぜか。 →一般社団法人あきる野総合スポーツクラブと障害者スポーツ協会による審判講習会については、ルールの確認と実践的な判断基準や応用力を研修するという内容であり、それぞれ趣旨が異なっている。							

基本目標3 誰もが気軽にスポーツに親しめる環境の構築
～地域団体との連携によるスポーツの振興～
スポーツ協会や総合型地域スポーツクラブなど多様な主体と連携し、様々なスポーツ事業を開催するとともに、地域団体の主体的な活動を支援し、スポーツ活動を支える担い手を充実させる取組を推進します。
また、ライフステージに応じた指導ができる指導者の育成やボランティアの育成、参加を促進し、地域の自主的なスポーツ活動の振興を図ります。

ア スポーツを「する」機会の充実								
内容	概要	令和5年度の実績	参加者等人数		令和5年度の実績	担当課の評価	令和6年度の実績	担当課
			対象者	参加者数				
都立のスポーツ施設等が企画するイベントの支援	都立施設が主催するイベントなどに協力するなどして、スポーツに親しめる機会を提供する。	都立秋留台公園が主催するユニバーサルスポーツ祭の運営協力を行った。（スポーツ推進課）（障がい者支援課）	どなたでも参加可能	185人	事業内容の工夫。	スポーツ推進委員や障がい者支援課など、様々な団体との協力によりスポーツの場を提供できている。	・都立秋留台公園が主催するユニバーサルスポーツ祭の運営協力を行う予定。（スポーツ推進課及び障がい者支援課） 10月26日(土)に実施予定。	スポーツ推進課 障がい者支援課
アーバンスポーツなどの実施環境構築に向けた検討	ボルダリングなどの設備を有する市内公立学校との連携などにより、身近にアーバンスポーツを体験できる場所・設備の確保や適切な指導を行うことのできる体制の整備などについて検討を行う。	ボルダリングなどの設備を有する市内公立学校との連携が不十分であり、アーバンスポーツを体験できる場所・設備の確保や適切な指導を行うことのできる体制の整備も充分に進んでいない。（スポーツ推進課）	—	—	アーバンスポーツの普及については、市内公立学校との連携が十分に進んでいないことやアーバンスポーツ体験の場づくりや指導体制の整備に課題がある。	アーバンスポーツの設備を有する市内公立学校との調整が不十分であるため、今後連携を進めていく上で、調整していく必要がある。	ボルダリングなどの設備を有する市内公立学校との連携をすすめ、アーバンスポーツを体験できる場所・設備の確保や適切な指導を行うことのできる体制の整備を進めていく。	スポーツ推進課
イ スポーツを「ささえる」人材の育成								
内容	概要	令和5年度の実績	参加者等人数		令和5年度の実績	担当課の評価	令和6年度の実績	担当課
			対象者	参加者数				
スポーツ推進委員活動の活性化	地域スポーツの重要な担い手であるスポーツ推進委員の資質向上に向け各種研修会への参加支援を行う。 また、スポーツ推進委員の活動について広くホームページなどで情報を発信する。	①スポーツ推進委員の資質向上と地域スポーツ推進のため、東京都スポーツ推進協議会等が行う研修会等への参加を支援する。（スポーツ推進課） ②「広域地区別研修会」は、羽村市主催により、障害者スポーツ体験を通して、スポーツ推進委員の役割及び指導方法について知識の向上を図った。10月28日(土) S&Dスポーツアリーナ（羽村市スポーツセンター）（スポーツ推進課） ③スポーツ推進委員事業 年間25回 （スポーツ推進課）	①スポーツ推進委員 ②あきる野市スポーツ推進委員 ③市内在住在勤在学の方	①3人 ②10人 ③1033人	①指導資格だけではなく、支える人材や指導者、ボランティア、介助者等についても輪を広げるための課題がある。 ②事業に対する参加者の減少や参加者が固定化している。 ③事業内容の工夫	スポーツ推進委員によりスポーツを推進するための事業を積極的に実施しているため、今後は、指導資格だけではなく、支える人材等の輪を広げることや参加者のニーズに合わせて事業を実施するなど、事業内容を工夫して実施していきたい。	①スポーツ推進委員の資質向上と地域スポーツ推進のため、東京都スポーツ推進協議会等が行う研修会等への参加を支援する。 ②「広域地区別研修会」は、福生市主催により、障がい者スポーツ体験を通して、スポーツ推進委員の役割及び指導方法について知識の向上を図った。令和6年8月24日（土） ③スポーツ推進委員事業を予定している。	スポーツ推進課

■「第2次あきる野市スポーツ推進計画」令和5年度実績及び令和6年度取組状況検証 ヒアリングシート

		地域スポーツ指導者の育成と資質の向上	ライフステージごとの特性を踏まえ、自主性・自律性を促せるような指導ができる質の高いスポーツ指導者を育成する。 本人の希望によらず、けがや不適切な指導などの理由によりスポーツの機会を失うことがないよう、スポーツ実施者の安心・安全を確保する。	スポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブ、スポーツ協会などでスポーツ教室及び指導講習会等を実施することで、地域スポーツ指導者の能力向上に努めた。(スポーツ推進課)	—	—	スポーツ指導者研修の必要性を周知する必要がある。	地域の現状や住民のニーズに応じた指導ができる指導者を育成できる仕組み作りが必要である。	スポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブ、スポーツ協会などでスポーツ教室及び指導講習会等を実施することで、地域スポーツ指導者の能力向上に努める。	スポーツ推進課
		パラスポーツ指導者の育成	誰もが気軽にスポーツに親しめるよう、パラスポーツを指導する上で必要となる、普及振興を推進する(戦略担当)人材、活動現場を統括する人材、アシスタントを担う人材を育成する。	ポッチャあきる野大会の審判を行うに当たり、審判講習会を実施した。(スポーツ推進課)	あきる野市スポーツ推進委員	12人	安定した大会運営に向けた、定期的な審判講習会の実施	ポッチャあきる野大会について、円滑に試合を進めるために、一人一人がルールを熟知し、判断できるいい機会となっている。	ポッチャあきる野大会の審判を行うに当たり、審判講習会を実施した。 令和6年度は、アスポルトによる審判講習会のほか、障害者スポーツ協会の指導員を派遣し、講習会を実施する予定。	スポーツ推進課
		スポーツ協会の活動支援	スポーツ協会と連携し、加盟団体が行う指導者の育成支援事業を支援する。	スポーツの日スポーツフェスティバルを開催し、施設の無料開放に合わせて各団体に協力を促すことで、団体指導員の技術力の向上及び指導者としての育成を図った。(スポーツ推進課)	市内在住・在勤・在学者	344人	施設の無料開放に伴い、団体種目のできる施設においては、団体利用ができなかったため、今後は施設の開放を早めに調整する必要がある。	幅広い市民にスポーツ教室を通して、運動する機会が提供できた。継続的に実施していきたい。	スポーツの日スポーツフェスティバルを開催し、施設の無料開放に合わせて各団体に協力を促すことで、団体指導員の技術力の向上及び指導者としての育成を図った。令和6年10月14日(月)実施予定	スポーツ推進課
		総合型地域スポーツクラブの活動支援	総合型地域スポーツクラブが地域スポーツのハブ拠点として、持続可能な運営体制の構築が図れるよう、課題を共有して、継続的な支援を行う。	事務所の提供、施設利用の免除、広報活動やチラシの学校配付、市のホームページにおけるお知らせやメール配信などの支援を行った。(スポーツ推進課)	—	—	安定したクラブ運営へのサポートを維持する必要がある。	総合型地域スポーツクラブの活動における支援を引き続き行っていきたい。	事務所の提供、施設利用の免除、広報活動やチラシの学校配付、市のホームページにおけるお知らせやメール配信などの支援を行った。	スポーツ推進課
		スポーツボランティアの育成、参加促進	スポーツを支える人材として、スポーツボランティアの育成や生涯学習人材バンクを活用し、スポーツボランティアの参加促進を図る。 また、各種スポーツ大会やイベントを開催する中で、ボランティアが参加する機会やきっかけをつくり、参加を促進する。	①各種スポーツ大会におけるPTAなどのボランティアを依頼し、大会を実施した。(スポーツ推進課) ②生涯学習人材バンクには、体育・スポーツ分野で5人登録されているが、紹介事例は無かった。(生涯学習推進課)	①各種スポーツ大会 ・子どもすもう大会 ・少年少女ドッジボール大会 ②—	①各種スポーツ大会 ・41人 ・40人 ②—	①スポーツイベント等におけるボランティアの募集方法や受け入れ方法等のあり方を検討する必要がある。 ②人材バンク制度についての認知度が低いためか、人材紹介依頼件数が少ない。	①PTAなどのスポーツボランティアが参加しているスポーツ大会を実施したが、今後も引き続きスポーツボランティアの活用については必要である。 ②人材バンクの活用件数は少ないが、地域活動を支援するスポーツ指導者の存在は大きいと考える。	①スポーツボランティアの参加促進につながる各種スポーツ大会やイベントの開催を検討する。 ②人材バンクの活用に向けて周知を図る。	スポーツ推進課 生涯学習推進課
		スポーツ推進審議会からの意見・評価	・ユニバーサルスポーツ祭などの事業において地域のボランティアを募集するのはどうか。 ・ボルダリングなどの施設を市民に活用していくべきである。スポーツをする場や支える場を提供することで、市民のスポーツ普及につながる。 ・指導者育成のために、協会ごとに1人、指導者講習会等への参加を義務づけるのはどうか。							

■「第2次あきる野市スポーツ推進計画」令和5年度実績及び令和6年度取組状況検証 ヒアリングシート

基本目標4 市の特性を生かしたスポーツの推進 ～スポーツによるまちづくり～ 市民がスポーツへの関心を高め、心身の健康増進や体力の向上を図る活動を手軽かつ継続的に取り組めるよう、地域の豊かな自然環境を生かしたウォーキングやアウトドアスポーツなど、市の特性を生かしたスポーツ活動を推進するとともに、「あるきたくなる街あきる野」を目指したまちづくりを連動して推進します。 また、あきる野市在住・出身のトップアスリートと連携し、スポーツによるまちづくりを推進します。								
スポーツを「する」機会の充実・スポーツによるまちづくり								
内容	概要	令和5年度の実績における進捗状況	参加者等人数		令和5年度の実績における課題	担当課の評価	令和6年度の実績	担当課
			対象者	参加者数				
あきる野市の特性を生かしたイベントの開催	本市の恵まれた自然環境を生かしたスポーツイベントを行っています。また、スポーツ活動を行うきっかけとなるような、多くの市民が参加することができるイベントの開催について検討する。	①スポーツ推進委員主催事業（スポーツ推進課） ・春のヘルシーウォーキング 令和5年4月15日（土）雨天中止 ・秋のヘルシーウォーキング 令和5年11月25日（土） ②一般財団法人日本山岳スポーツ協会の主催により、以下のとおりトレイルランニングレースが実施された。（観光まちづくり推進課） ・第15回ハセツネ30K 開催日：令和5年4月2日（日） 場所：小和田周辺（スタート・ゴール地点）及び戸倉三山周辺 ・第31回日本山岳耐久レース（24時間以内）～「長谷川恒男Cup」 開催日：令和5年10月8日（日）～9日（月） 場所：五日市会館周辺（スタート・ゴール地点）及び奥多摩山域 ・第16回ハセツネ30K 開催日：令和6年3月31日（日） 場所：小和田周辺（スタート・ゴール地点）及び戸倉三山周辺 ③「あきる野を知り隊（農ウオーク）」を実施した。（農林課） 令和6年2月17日に、秋川ファーマーズセンターを起点に東秋留地区周辺農地において開催した。	①スポーツ推進委員主催事業 ・春のヘルシーウォーキング：市内在住・在勤・在学 ・秋のヘルシーウォーキング：市内在住・在勤・在学 ②満16歳以上など諸条件を満たした大会申込者 ③市内在住・在勤・在学者	①スポーツ推進委員主催事業 ・春のヘルシーウォーキング：雨天中止 ・秋のヘルシーウォーキング：11人 ②第15回ハセツネ30K 参加者：1,405人 ・第31回日本山岳耐久レース 参加者：1,878人 ・第16回ハセツネ30K 参加者：1,356人 ③21人	①スポーツ推進委員主催事業 ・参加者数の減少 ・ウォーキングコースにおいて、自然や地形を生かしたコース等を検討する必要がある。 ②路面環境等が悪くなっており、安全にトレッキングできない登山道がある。 ③毎回、協力農家の選定に苦慮している。	①スポーツ推進委員主催事業 四季によって目的を持ってウォーキングをすることで、スポーツの普及や日頃の健康体力作りのきっかけとなっている。 ②小雨が降っていた大会もあったが、大会運営に支障がない状態で開催された。 ③農作物の収穫体験は、毎回好評で参加者に喜ばれていることから、農業を知ってもらうことや農家とのコミュニケーションも図ることができ、目的は達成されたと評価している。	①スポーツ推進委員主催事業 ・春のヘルシーウォーキング 令和6年4月20日（土）12人 ・秋のヘルシーウォーキング 令和6年11月23日（土）予定 ②一般財団法人日本山岳スポーツ協会の主催により、トレイルランニングレースが実施予定である。 ・第32回日本山岳耐久レース（24時間以内）～「長谷川恒男Cup」 開催日：令和6年10月13日（日）～14日（月） 場所：五日市会館周辺（スタート・ゴール地点）及び奥多摩山域 ・第17回ハセツネ30K 開催日：令和7年3月30日（日） 場所：小和田周辺（スタート・ゴール地点）及び奥多摩山域 ③「あきる野を知り隊（農ウオーク）」については、今後検討する予定。	スポーツ推進課 観光まちづくり推進課 農林課
アウトドアスポーツの推進	本市の豊かな自然の中で、登山、トレッキング、トレイルラン、フリークライミング、ボルダリングなどのアウトドアスポーツが行われている。これら市の特性を生かしたアウトドアスポーツを推進するとともに、更に多くの人に周知することで、まちのイメージアップを図る。	①スポーツ推進委員主催事業（スポーツ推進課） ・春のヘルシーウォーキング 令和5年4月15日（土）雨天中止 ・秋のヘルシーウォーキング 令和5年11月25日（土） ②一般財団法人日本山岳スポーツ協会の主催により、以下のとおりトレイルランニングレースが実施された。（観光まちづくり推進課） ・第15回ハセツネ30K 開催日：令和5年4月2日（日） 場所：小和田周辺（スタート・ゴール地点）及び戸倉三山周辺 ・第31回日本山岳耐久レース（24時間以内）～「長谷川恒男Cup」 開催日：令和5年10月8日（日）～9日（月） 場所：五日市会館周辺（スタート・ゴール地点）及び奥多摩山域 ・第16回ハセツネ30K 開催日：令和6年3月31日（日） 場所：小和田周辺（スタート・ゴール地点）及び戸倉三山周辺 ③豊かな自然を堪能できるハイキングコースを掲載した観光パンフレットを計11万部作成し、武蔵五日市駅観光情報コーナー等で配付した。（観光まちづくり推進課）	①スポーツ推進委員主催事業 ・春のヘルシーウォーキング：市内在住・在勤・在学 ・秋のヘルシーウォーキング：市内在住・在勤・在学 ②満16歳以上など諸条件を満たした大会申込者 ③－	①スポーツ推進委員主催事業 ・春のヘルシーウォーキング：雨天中止 ・秋のヘルシーウォーキング：11人 ②第15回ハセツネ30K 参加者：1,405人 ・第31回日本山岳耐久レース 参加者：1,878人 ・第16回ハセツネ30K 参加者：1,356人 ③－	①スポーツ推進委員主催事業 ・参加者数の減少 ・ウォーキングコースにおいて、自然や地形を生かしたコース等を検討する必要がある。 ②路面環境等が悪くなっており、安全にトレッキングできない登山道がある。 ③自然環境に配慮したアウトドアスポーツが実施させていない可能性がある。	①スポーツ推進委員主催事業 四季によって目的を持ってウォーキングをすることで、スポーツの普及や日頃の健康体力作りのきっかけとなっている。 ②小雨が降っていた大会もあったが、大会運営に支障がない状態で開催された。 ③概ね予定どおりに事業を実施した。	①スポーツ推進委員主催事業 ・春のヘルシーウォーキング 令和6年4月20日（土）12人 ・秋のヘルシーウォーキング 令和6年11月23日（土）予定 ②一般財団法人日本山岳スポーツ協会の主催により、トレイルランニングレースが実施予定である。 ・第32回日本山岳耐久レース（24時間以内）～「長谷川恒男Cup」 開催日：令和6年10月13日（日）～14日（月） 場所：五日市会館周辺（スタート・ゴール地点）及び奥多摩山域 ・第17回ハセツネ30K 開催日：令和7年3月30日（日） 場所：小和田周辺（スタート・ゴール地点）及び奥多摩山域 ③豊かな自然を堪能できるハイキングコースを掲載した観光パンフレットを計11万部作成し、武蔵五日市駅観光情報コーナー等で配付した。	スポーツ推進課 観光まちづくり推進課
楽しく歩けるまちづくりの推進	市民や市外から訪れた方が快適に過ごせるように、観光駐車場や公衆トイレ機能の充実を図るなど、観光部門と連動して取組を進める。	公衆トイレについて、利用者が快適に過ごせるように、故障等が発生したら速やかに修理した。また、ゴミの廃棄等の悪質な利用を防ぐために、張紙により注意喚起した。（観光まちづくり推進課）	－	－	一部のトイレについて、老朽化により清潔さに欠ける状態となっている。	概ね予定どおりに事業を実施した。	・養沢神社トイレについて、東京都と連携し、令和6年度中に建替えを実施する予定である。	観光まちづくり推進課

■「第2次あきる野市スポーツ推進計画」令和5年度実績及び令和6年度取組状況検証 ヒアリングシート

			情報の発信	年齢や体カレベルなどに応じたウォーキングコースを設定し、ホームページで紹介するなどし、スポーツ活動を行うきっかけづくりを行う。	①過去に実施したヘルシーウォーキングのコースをホームページに掲載した。(スポーツ推進課) ②めざせ健康あきる野21推進事業「ウォーキングⅡ班」では、日常生活での身体活動を増やし、定期的な運動の実施を促すため、めざせ健康あきる野21ふれあいウォークを実施しており、ホームページで掲載した。(健康課)	—	—	・掲載しているコースも偏りがある。 ・市広報紙やインターネットを利用しない・できない方への情報提供方法を検討する必要がある。	・リピーターが多く新規参加者が少ない。周知方法等、再検討が必要。 ・2か月に1回実施しているが、雨天が多く、実際に開催できたのは年3回であった。	①過去に実施したヘルシーウォーキングのコースをホームページに掲載している。 ②めざせ健康あきる野21推進事業「ウォーキングⅡ班」では、日常生活での身体活動を増やし、定期的な運動の実施を促すため、第103回～108回めざせ健康あきる野21ふれあいウォークを実施し、ホームページで掲載する。	スポーツ推進課 健康課
			トップアスリートとの連携	あきる野市在住・出身のトップアスリートと連携し、アンバサダーとして、スポーツの推進や市のイメージアップを図る。	あきる野市在住・出身アスリートのアンバサダーについて、市のイメージアップが図れるよう、協力依頼を進めていく。(スポーツ推進課)	—	—	あきる野市在住・出身アスリートのアンバサダーについて、協力依頼ができていない。	あきる野市在住・出身アスリートのアンバサダーについて、協力依頼を検討する必要がある。	全国大会等に出場した団体や選手等をプレスリリースし、活動を紹介している。 また、あきる野市在住・出身アスリートのアンバサダーについて、市のイメージアップが図れるよう、協力依頼を進めていく。	スポーツ推進課
			スポーツ推進審議会からの意見・評価	・総合型地域スポーツクラブの活動内容について、明記するのはどうか。 ・市内には、自然環境を活用したアウトドアスポーツを行うことができる環境があるため、活用方法等を検討する必要がある。 ・現在、本市のスポーツ施設は老朽化が著しく、今後のスポーツ施設におけるニーズを調査する必要がある。そのために、調査委員会(スポーツ推進審議会分科会等)を発足させるのはどうか。 →令和9年度に市民アンケートを実施する予定であり、そのアンケートを参考に本市のスポーツ施設ニーズを調査し、検討する。また、それに伴い、調査委員会を発足することにおいて検討する。							

■「第2次あきる野市スポーツ推進計画」令和5年度実績及び令和6年度取組状況検証 ヒアリングシート

基本目標5 スポーツに親しめる場の提供
～スポーツをする場の整備・確保～
誰もが気軽にスポーツや運動に親しむことができる環境づくりに向けて、引き続き学校施設の開放や既存施設等の整備・充実など、スポーツに親しむ場の整備を行うとともに、指定管理者と連携し、多様なニーズに対応できるよう施設の効率的な管理、サービスの向上に努めています。
また、都立秋留台公園や都立特別支援学校などと連携を図り、スポーツ活動の場の確保に努めていきます。

(1) 既存のスポーツ施設等の整備・充実
既存のスポーツ施設については、経年による老朽化が進んでおります。また、人口減少、少子高齢化が進む中で、今後の施設の在り方を検討していく必要がある。

スポーツを「する」機会の充実								
内容	概要	令和5年度の実組における進捗状況	参加者等人数		令和5年度の実組 における課題	担当課の評価	令和6年度の実組	担当課
			対象者	参加者数				
市立のスポーツ施設等の管理・整備	あきる野市公共施設等個別施設計画に基づき、スポーツ施設等の状態を把握し、計画的に施設の管理・改修等を実施する。 また、スポーツ施設の改修等に合わせ、地域住民が集まりやすく、誰もが気軽に活動できる地域スポーツ拠点となるよう、施設のユニバーサルデザイン化の推進やスポーツ後などに市民が交流できるスペースの設置など、設備の充実について検討する。	・五日市ファインプラザについては、プール水循環設備及び館内空調設備等の修繕を実施し、不具合の改善を行った。(スポーツ推進課) ・市民プールについては、シャワー設備及びプール槽の塗装改修工事等を行った。(スポーツ推進課) ・その他の施設においては、管理人や職員による点検を行い、不具合が見つかった箇所について、修繕を実施し、維持管理に努めた。(スポーツ推進課)	—	—	不具合箇所については、早期に発見し、公共施設等総合管理計画の改定を踏まえ、計画的に施設の維持管理を進める必要がある。	各施設において設備の老朽化が著しく、不具合が頻繁に多発している状況であり、その都度修繕している状況である。引き続き、不具合が生じている箇所については、修繕していく必要がある。	・秋川体育館は、大体育室や小体育室、柔剣道場の床の修繕を実施している。 ・五日市ファインプラザは、シャワーの交換修繕を実施している。 ・その他の施設においては、管理人や職員による点検を行い、不具合が見つかった箇所について、修繕を実施し、維持管理に努める。	スポーツ推進課
学校施設等の開放	引き続き、市立小中学校の校庭及び体育館などについて、夜間照明のLED化など、計画的な改修を行い、地域のスポーツ活動の拠点として利用しやすい施設となるよう、更に充実を図る。	①市立小中学校の校庭の夜間照明において、電球の球切れや鳥の巣による危険性があつた場合には、早急に対応した。(スポーツ推進課) ②学校施設(校庭、体育館及び夜間照明を含む)の照明設備LED化改修事業計画を策定した。(教育総務課)	—	—	①不具合箇所については、早期に発見し、公共施設等総合管理計画の改定を踏まえ、計画的に施設の維持管理を進める必要がある。 ②—	①学校開放事業における不具合等については、早急に対応しているため、引き続き、不具合がある場合には、早急に対応する必要がある。 ②概ね予定どおりに実施できた。	①市立小中学校の校庭の夜間照明において、電球の球切れや鳥の巣による危険性がある場合には、早急に対応する。 ②照明設備LED化改修事業計画に基づき「あきる野市立小・中学校空調設備更新及び照明器具LED化業務委託(債務負担行為)」を実施する。	スポーツ推進課 教育総務課
指定管理者との連携による施設の充実	施設利用者からの意見や要望をアンケートなどにより把握し、施設・設備の改善や、運用方法の見直しなどを行い、より利用しやすい施設となるよう、指定管理者と連携した取組を進める。	各指定管理者施設に意見箱を用意し、施設利用者に意見や要望のアンケートを実施した。(スポーツ推進課)	各施設利用者	11人	施設の老朽化による修繕の要望や教室の増設等の意見がある。	課題に対して、対応可能な要望や意見から対応している点が評価できる。	引き続き、各指定管理者施設に意見箱を用意し、施設利用者に意見や要望のアンケートを実施する。	スポーツ推進課

(2) 都立特別支援学校などと連携したスポーツ活動の場の提供
都立施設や民間事業者と連携し、市民の誰もがスポーツに親しめる場の確保に努めるとともに、都立施設などが主催する事業の周知活動を行うなどして、スポーツに親しめる場の情報を発信していきます。

スポーツを「する」機会の充実								
内容	概要	令和5年度の実組における進捗状況	参加者等人数		令和5年度の実組における課題	担当課の評価	令和6年度の実組	担当課
			対象者	参加者数				
都立のスポーツ施設等の情報の提供	都立施設の開放情報や都立施設が主催するイベント情報などを市のホームページなどで周知する。	①都立秋留台公園が主催するユニバーサルスポーツ祭の周知を広報紙で行った。(スポーツ推進課) ②地域自立支援協議会において周知した。(障がい者支援課)	①②ユニバーサルスポーツ祭	①②ユニバーサルスポーツ祭:185人	①②ユニバーサルスポーツ祭については、広報紙での周知は実施しているが、ホームページでの周知等については課題があるため市ホームページの作成が必要である。	①ユニバーサルスポーツ祭については、市内の都立公園での事業のため、周知においても協力し、参加者増加に努める。	①都立秋留台公園が主催するユニバーサルスポーツ祭の運営協力を行う予定。令和6年10月26日(土)実施予定 ②都立施設が主催するイベントなどの周知を行う。	スポーツ推進課 障がい者支援課
民間事業者との連携	民間事業者と連携し、民間事業者が持つ施設等を活用した取組を検討し実施する。	民間事業者が企画するスポーツイベントについては、支援する機会が無かった。(スポーツ推進課)	—	—	民間事業者が企画するスポーツイベントについては、支援する機会	民間事業者が企画するスポーツイベントについては、支援する機会がなかったため、次年度以降支援する機会に備える必要がある。	民間事業者と連携し、お互いの持つ施設等を有効活用できる取組を検討する。	スポーツ推進課

スポーツ推進審議会からの意見・評価	・猛暑等により、夏場の活動が厳しくなっている。空調のない施設の対応について検討していただきたい。 →施設の暑さ指数が上限を超えた場合、施設で周知し、利用者に注意するなどわかりやすいように表示をしている。また、暑さ指数が一定を超えた場合は、全額施設使用料を還付している。施設が他自治体と比較しても充実しているため、維持していくのか今後検討する必要がある。 ・修繕については、老朽箇所や不具合箇所を判断し、計画的に修繕を行う。							
-------------------	---	--	--	--	--	--	--	--